

検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
 このたび、下記の検査項目におきまして、検査内容を変更させていただきたくご案内いたします。
 何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

■ 実施日 2021年4月1日(木) ご依頼分より

* 報告書変更(外注項目の報告書変更、細胞性免疫検査報告書変更)は、4月5日(月)ご報告分より

* 容器変更(容器記号 X、r、i、z)については4月1日より順次変更させていただきます

■ 変更項目

● エスアールエル北関東内製項目

検査項目	LD (LDH)	HBs 抗原 (CLEIA)
	アルカリフォスファターゼ (ALP)	HBs 抗体
	C 反応性蛋白 (CRP) 定量	副甲状腺ホルモン (PTH) -インタクト
	HBs 抗原	検査報告書 (総合検査報告書、新患者報告書、血液検査プロフィール報告書)

● 外注項目

検査項目	ALP アイソザイム	ベプリジル	VMA (酸性蓄尿)
	トリプシン	免疫電気泳動 (抗ヒト全血清による同定)	5-HIAA (血漿・髄液)
	バンコマイシン	LD (LDH) アイソザイム	5-HIAA (酸性蓄尿)
	トロンボモジュリン	ハイドロキシプロリン総	TSH 刺激性レセプター抗体 (TSAb)
	便中ヘリコバクターピロリ抗原	脂肪酸分画 (24 成分)	心筋トロポニン T
	ループスアンチコアグラント (希釈ラッセル蛇毒時間法)	IGF-1 (ソマトメジン C) (ECLIA)	CA54/61
	I 型コラーゲン架橋 N-テロペプチド (NTx)	副甲状腺ホルモン (Whole PTH)	クラミドフィラ (クラミジア) シッタシ IgG
	I 型コラーゲン架橋 N-テロペプチド (NTx) (骨粗鬆症)	カテコールアミン総	クラミドフィラ (クラミジア) シッタシ IgM
	クレアチン	カテコールアミン 3 分画 A: アドレナリン NA: ノルアドレナリン DA: ドーパミン	抗 IA-2 抗体
	抗セントロメア抗体	メタネフリン・ノルメタネフリン分画	細胞性免疫検査 (一部項目の報告書)
	ラモトリギン	HVA (血漿・髄液)	甲状腺機能検査 (報告書)
	トピラマート	HVA (酸性蓄尿)	容器 (X、r、i、z) 使用項目)
	レベチラセタム	VMA (血漿)	

●変更一覧表（エスアールエル北関東内製項目）

項目コード	検査項目	変更内容	新	現	備考
0017 2	LD (LDH)	項目コード	L774 1	0017 2	IFCC 測定法試薬の変更に伴う、項目コード、項目名称、検査方法、基準値の変更
		項目名称	LD (LDH) IFCC	LD (LDH)	
		検査方法	IFCC 標準化対応法	JSCC 標準化対応法	
		基準値 (単位)	124~222 (U/L)	115~245 (U/L)	
0016 3	アルカリフォスファターゼ (ALP)	項目コード	L773 2	0016 3	IFCC 測定法試薬の変更に伴う、項目コード、項目名称、検査方法、基準値の変更
		項目名称	アルカリフォスファターゼ (ALP) IFCC	アルカリフォスファターゼ (ALP)	
		検査方法	IFCC 標準化対応法	JSCC 標準化対応法	
		基準値 (単位)	38~113 (U/L)	115~359 (U/L)	
0007 3	C 反応性蛋白 (CRP) 定量	項目コード	B052 2	0007 3	高感度試薬を使用した検査法に変更
		検査方法	ラテックス凝集比濁法	ラテックス免疫比濁法	
		基準値 (単位)	0.140 以下 (mg/dL)	0.30 以下 (mg/dL)	
		報告範囲	0.005 未満、 0.005~99.999 100 以上	0. 0 0~99999.99	
0593 3	HBs 抗原 (CLEIA)	項目コード	A021 7	0593 3	現行試薬製造中止に伴い、代替項目に変更
		項目名称	HBs 抗原 (HQ)	HBs 抗原 (CLEIA)	
		基準値 (単位)	0.005 未 (IU/mL) (-)	1.0 未満 (C.OI) (-)	
M739 9	HBs 抗原	項目コード	M740 7	M739 9	
		項目名称	HBs 抗原定性	HBs 抗原	
A003 7	HBs 抗体 (CLEIA)	基準値 (単位)	10.0 未満 (-) (mIU/mL)	10.0 未満 (-) (mIU/mL)	測定試薬販売中止に伴う試薬の変更、基準値、報告範囲、案内書備考欄の変更
		報告範囲 (単位)	3.0 未満、 3.0~999.9、 1000 以上 (mIU/mL)	1.0 未満、 1.0~999.9、 1000 以上 (mIU/mL)	
		案内書備考欄	(基準値について) B 型肝炎ウイルス感染防御の最小 HBs 抗体価である 10.0mIU/mL を基準に設定しています。	(基準値について) 10.0 mIU/mL は、HBV ワクチンの再接種基準のためのカットオフ値です (最小防御抗体価)。	
3154 7	副甲状腺ホルモン (PTH) -インタクト	保存	冷蔵	凍結	保存温度の見直し
—	検査報告書	総合検査報告書 新患者報告書報告書 血液検査プロフィール	欄外報告欄を 2 行印字から 1 行印字に変更します。(総合検査報告書) 欄外報告欄先頭に患者属性情報を追加します。(総合検査報告書) 今回の変更に合わせて、検査名称、基準値等修正しております。		定期見直しによる変更

●変更一覧表（外注項目）

項目コード	検査項目	変更内容	新	現	備考
3267 2	ALP アイソザイム	項目名称	ALP アイソザイム (IFCC)	ALP アイソザイム	IFCC 測定法試薬の変更に伴う、項目名称、基準値、報告範囲の変更
		基準値 (単位)	ALP1 0.0~5.3	ALP2 36~74	
			ALP2 36.6~69.2	ALP3 25~59	
			ALP3 25.2~54.2 ALP5 0.0~18.1 (%)	ALP5 0~16 (%)	
報告範囲	0.0~100.0	0~100			
3035 9	トリプシン	項目コード	B049 6	3035 9	全自動測定機器対応測定試薬への変更に伴う、項目コード、検査方法、基準値、報告範囲、測定実施場所の変更
		検査方法	ラテックス凝集比濁法	ELISA	
		基準値 (単位)	210~570 (ng/mL)	100~550 (ng/mL)	
		報告範囲	30 未満、 30~99900000	50 未満、 50~99900000	
		測定実施場所	エスアールエル MUQS ラボラトリー (&J)	エスアールエルハ王子ラボラトリー	
3859 5	バンコマイシン	検査方法	ラテックス凝集比濁法	EIA	測定試薬の変更に伴う、検査方法、報告範囲の変更
		報告範囲 (単位)	2.5 未満、 2.5~999999.9 ($\mu\text{g/mL}$)	4.0 未満、 4.0~999999.9 ($\mu\text{g/mL}$)	
4150 0	トロンボモジュリン	項目コード	A865 1 (血清) A866 0 (血漿)	4150 0	全自動測定機器対応測定試薬への変更に伴う、項目コード、検査方法、材料、検体量、容器、単位、基準値、報告範囲、案内書備考欄、検体取り扱い方法の変更
		検査方法	CLEIA	EIA	
		材料	血清、血漿	血清	
		検体量 (mL)	血清、血漿 0.4	血清 0.3	
		容器	血清：変更はありません 血漿：PC2 (IB K) →A00 (IB X)	血清：S09→A00 (IB X)	
		単位	U/mL	FU/mL	
		基準値	血清 12.1~24.9	M 2.1~4.1、	
			血漿 8.7~22.7	F 1.8~3.9	
		報告範囲	5.0 未満、 5.0~199、200 以上	1.0 以下、 1.1~31.9、32.0 以上	
		案内書	血清：(記載なし)	(記載なし)	
		備考欄	血漿：凝固検体取り扱いについては、 容器の取り扱い方法②ページをご参照 ください。		
検体の取り扱い方法	血漿：3.2%のクエン酸ナトリウム 0.2mL に血液 1.8mL の割合で採血 し、転倒混和を 5~6 回繰り返した 後、速やかに血漿分離してください。 血漿は必ず凍結保存してください。 (複数の検査項目をご依頼される場合 で、採血量が 1.8mL 以上の場合、 PC5 の容器をご利用ください。)	(記載なし)			

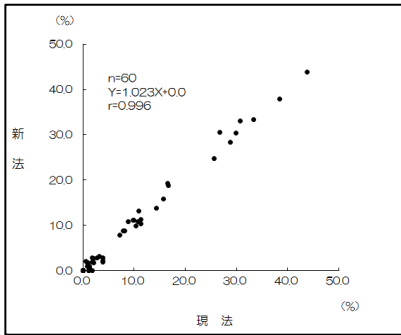
項目コード	検査項目	変更内容	新	現	備考
46578	便中ヘリコバクターピロリ抗原	検査方法	EIA	ELISA	国内シェア率の高い測定試薬の変更に伴う、検査方法、容器、案内書備考欄の変更
		容器	F20 (IB d4) ※専用容器が変更となります。	F70 (IB d7)	
		案内書備考欄	必ず専用容器で採取してご提出ください。	必ず専用容器で採取してご提出ください。 凍結保存は避けてください。	
41672	ループスアンチコアグロラント (希釈ラッセル蛇毒時間法)	基準値	1.2 以下	1.3 未満	日本血栓止血学会の推奨法である Normalized Ratio を使用し、同学会の推奨基準値と同等の基準値を採用している測定試薬へ変更
		報告範囲	0.1~99.9 (中和前凝固時間) 16.0 未満、16.0~239.9、 240.0 以上 (秒) (中和後凝固時間) 6.0 未満、6.0~120.9、 121.0 以上 (秒)	0.07 以下、0.08~14.99、 15.00 以上 (中和前凝固時間) 10.0 以下、10.1~149.9、 150.0 以上 (秒) (中和後凝固時間) 10.0 以下、10.1~149.9、 150.0 以上 (秒)	
		報告桁数	有効 3、整数 2、小数 1	有効 4、整数 2、小数 2	
47162	I 型コラーゲン架橋 N-テロペプチド (NTx)	検査方法	CLEIA	ELISA	全自動測定機器対応測定試薬への変更に伴う、検査方法、報告範囲、案内書備考欄の変更
		報告範囲 (単位)	NTx 濃度： 部分尿 15 未満、 15~99999999 (nmolBCE/L) クレアチニン 換算値： 変更はありません (nmolBCE/mmol・CRE)	NTx 濃度： 部分尿 20 以下、 21~99999999 (nmolBCE/L) クレアチニン 換算値： ~999999.9 (nmolBCE/mmol・CRE)	
47531	I 型コラーゲン架橋 N-テロペプチド (NTx) (骨粗鬆症)	案内書備考欄	午前中の第二尿をご提出ください。 血尿でのご提出は避けてください。	午前中の第二尿をご提出ください。	
36227	クレアチン	基準値 (単位)	血清 0.17~1.00 (mg/dL)	血清 0.31~1.10 (mg/dL)	測定試薬販売中止に伴う試薬の変更、基準値の変更
46622			蓄尿 (変更はありません)	蓄尿 M 0.20 以下 F 0.43 以下 (g/day)	
62039	抗セントロメア抗体	検査方法	CLEIA	ELISA	測定試薬販売中止に伴う試薬の変更、検査方法、基準値、報告範囲の変更
		基準値 (単位)	血清 10.0 未満 (U/mL)	血清 10.0 未満 (なし) 判定基準：総合検査案内参照	
		報告範囲	2.0 未満、2.0~499、500 以上	5.0 未満、5.0~299、300 以上	
K2189	ラモトリギン	基準値 (治療濃度範囲)	2.5~15 (μg/mL)	(設定なし)	TDM ガイドラインに基づいた基準値、採血時刻への変更
	採血時刻	次回投与直前 (Trough 濃度)			
K5997	トピラマート	基準値 (治療濃度範囲)	5~20 (μg/mL)		
		採血時刻	次回投与直前 (Trough 濃度)		
K5988	レベチラセタム	基準値 (治療濃度範囲)	12~46 (μg/mL)		
K5889	ヘプリジル	採血時刻	(削除)	投与後 3 時間 (Peak 値)	
32023	免疫電気泳動 [抗ヒト全血清による同定]	報告内容	(判定コメント) 日本語表記に統一	(判定コメント) 日本語表記と英語表記混在	判定コメントの変更 (日本語表記に統一)
46947	ハイドロキシプロリン-総	保存	冷蔵	凍結	保存温度の見直し
A0848	脂肪酸分画 (24 成分) (血漿)	保存	冷蔵	凍結	
L3493	脂肪酸分画 (24 成分) (血清)	保存	冷蔵	凍結	
A0668	脂肪酸分画 (4 成分)	保存	冷蔵	凍結	
A2828	IGF-1 (ソマトメジン C) (ECLIA)	保存	冷蔵	凍結	

項目コード	検査項目	変更内容	新	現	備考
31547	副甲状腺ホルモン (PTH) -インタクト	保存	冷蔵	凍結	保存温度の見直し
64758	副甲状腺ホルモン (Whole PTH)	保存	冷蔵	凍結	
45047	カテコールアミン総	保存	冷蔵	凍結	
45083	カテコールアミン3分画 A: アドレナリン NA: ノルアドレナリン DA: ドーパミン	保存	冷蔵	凍結	
A2990	メタネフリン・ノルメタ ネフリン分画	保存	冷蔵	凍結	
40178	HVA (血漿)	保存	冷蔵	凍結	
76034	HVA (髄液)	保存	冷蔵	凍結	
45146	HVA (酸性蓄尿)	保存	冷蔵	凍結	
40169	VMA (血漿)	保存	冷蔵	凍結	
45137	VMA (酸性蓄尿)	保存	冷蔵	凍結	
40150	5-HIAA (血漿)	保存	冷蔵	凍結	
76016	5-HIAA (髄液)	保存	冷蔵	凍結	
45128	5-HIAA 酸性蓄尿)	保存	冷蔵	凍結	
30449	TSH 刺激性レセプター 抗体 (TSAb)	保存	冷蔵	凍結	
95321	心筋トロポニンT	保存	冷蔵	凍結	
34481	CA54/61	所要日数	3~7	3~6	所要日数の変更
33734	クラミドフィラ (クラミジア) シッタシ IgG	所要日数	3~9	3~5	
33743	クラミドフィラ (クラミジア) シッタシ IgM	所要日数	3~9	3~5	
A2639	抗 IA-2 抗体	所要日数	3~9	3~6	
—	細胞性免疫検査 (一部項 目について)	報告書	報告書裏面印刷内容を削除させていただきます。削除した裏面内容につ いては、WEB 版検査案内に掲載させていただきます。		報告書統一のため
—	甲状腺機能検査	報告書	30313「TSHレセプター抗体」の受託中止に伴い「甲状腺機能検査報告 書」が変更されます。「TSHレセプター抗体」を削除し、代替項目の 「TSHレセプター抗体(第3世代)」の掲載位置を変更します。		受託中止項目対応に伴う、報告書変 更
—	X r i z 使用項目	容器	容器コード X、r、i、zについて新容器の取扱いを開始します。		新容器の取扱い開始、順次変更

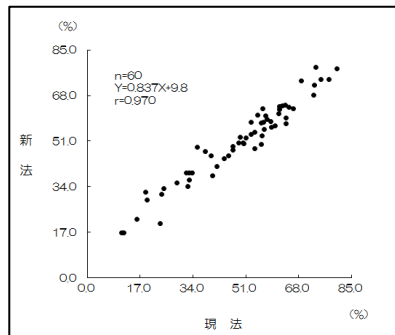
▼現法と新法の比較

• ALP アイソザイム

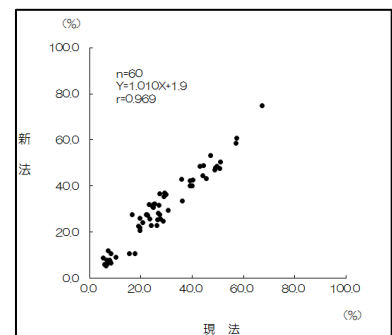
• ALP1



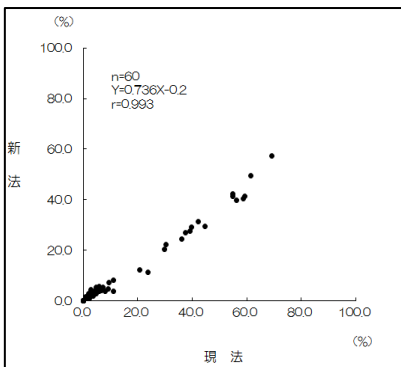
• ALP2



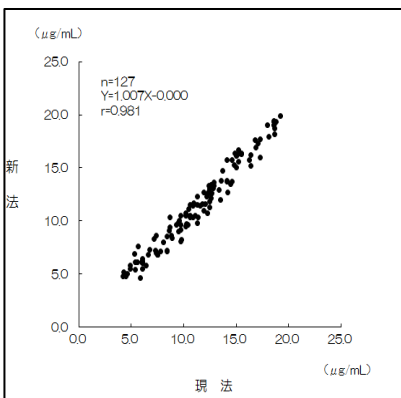
• ALP3



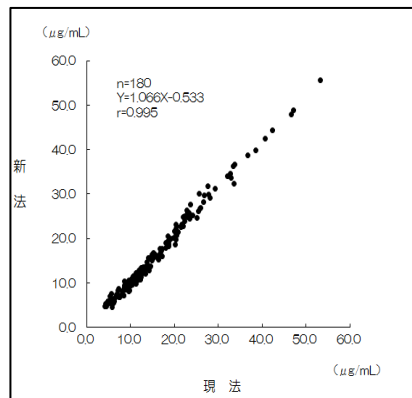
• ALP5



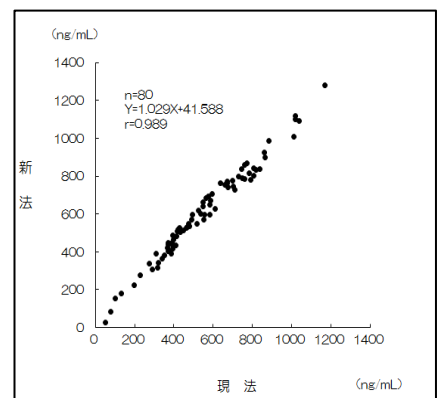
• バンコマイシン (全体)



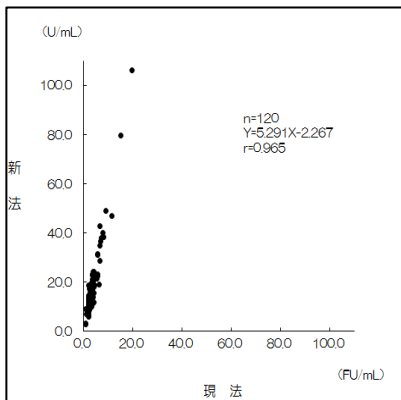
• バンコマイシン (低濃度域)



• トリプシン



• トロンボモジュリン



• 便中ヘリコバクターピロリ抗原

相関一致表

		ELISA (現法)		
		陰性	判定保留	陽性
EIA (新法)	陰性	16	0	0
	陽性	0	2	22

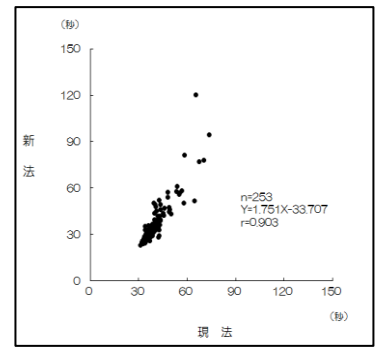
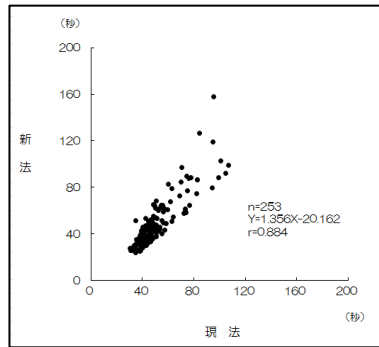
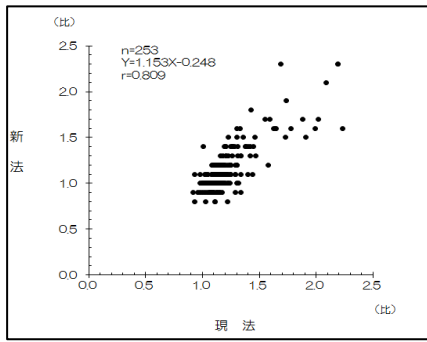
一致率(判定保留を除く) : 100% n=40

・ループスアンチコアグラント（希釈ラッセル蛇毒時間法）

(比)

(中和前凝固時間)

(中和後凝固時間)

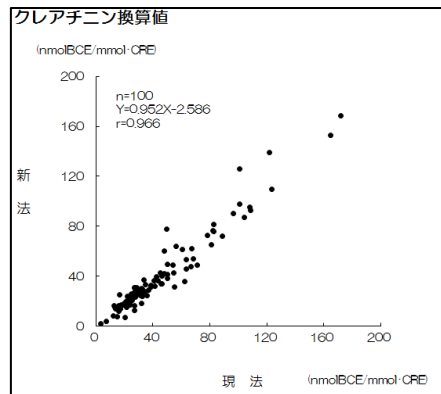
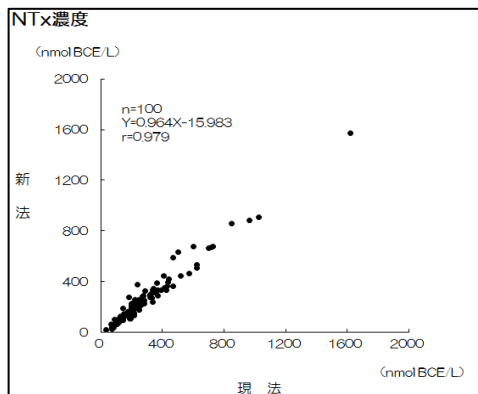


(相関一致表)

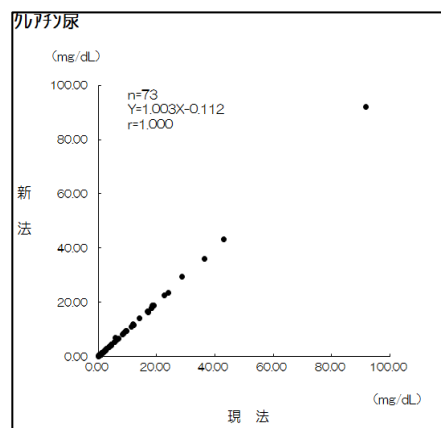
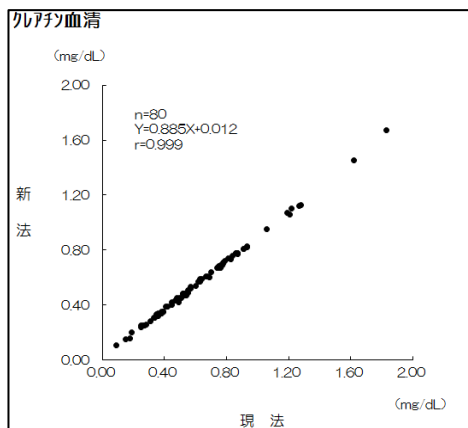
		現法	
		陰性(-)	陽性(+)
新法	陰性(-)	194	9
	陽性(+)	16	34

判定一致率：90.1% n=253

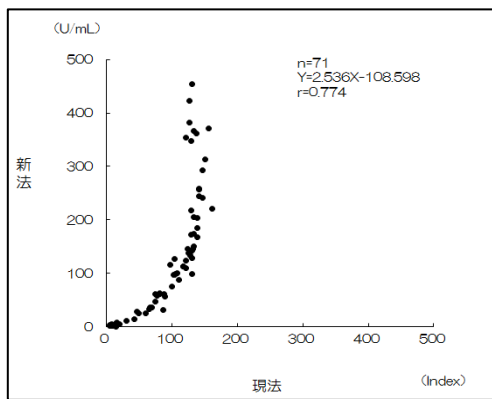
- ・ I 型コラーゲン架橋 N-テロペプチド (NTx)
- ・ I 型コラーゲン架橋 N-テロペプチド (NTx) (骨粗鬆症)



・クレアチン



・ 抗セントロメア抗体



		現法	
		陰性	陽性
新法	陰性	58	2
	陽性	0	91

判定一致率： 98.7% n=151

●総合検査報告書

- ・ 欄外報告欄を2行印字から1行印字に変更します。
- ・ 欄外報告欄先頭に患者属性情報を追加します。
- ・ 今回の変更に合わせて、検査名称、基準値等修正しております。

●下記項目は既に予告ご案内済みですので割愛させていただきます。

- ・ LD (LDH) ・ アルカリフォスファターゼ (ALP) ・ C 反応性蛋白 (CRP) 定量
- ・ HBs抗原 ・ HBs抗体